

## お題①

香川漆器の魅力を日本中に知らしめる  
源内先生顔負けのキャッチコピー。

瀬ト内工芸ズ。

お盆や食器、家具など、生活の中で幅広く愛される香川漆器。  
古くから受け継がれる伝統的な手法により、職人の手で1つずつ丁寧に作り上げられる  
ひとつ上の味わい深い暮らしを楽しめる香川漆器の魅力に  
みんながハッとするような、源内先生顔負けのキャッチコピーを募集します！

## 香川の伝統工芸「香川漆器」について。

江戸時代、高松藩主である松平家が、茶道・書道とともに盛り上げ、保護したことによって発展してきました。  
江戸後期には、香川漆器の始祖と言われる玉楮象谷(たまきじょうこく)が、中国伝来の漆技法に  
独自の技を加えて新しい技法を作り上げました。

それは現在まで受け継がれ、「蒟醬(きんま)」、「存清(ぞんせい)」、「彫漆(ちょうしつ)」、「象谷塗(ぞうこくぬり)」、  
「後藤塗(ごとうぬり)」の5つの技法は、国の伝統的工芸品に指定されています。

青森の津軽塗りから沖縄の琉球漆器まで、産地それぞれに特徴がありますが、  
香川漆器の特徴はその技法の多さです。これら特徴が違う5つの技法で仕上げられる漆器は、  
日本が世界に誇る逸品です。

また、日常で使えるお盆や食器、家具など種類の豊富なことでは、数ある産地と比べても全国一です。  
技法によって塗りの工程は違いますが、大きく分けると「下地」「中塗・上塗」「加飾・仕上げ」の三段階です。  
塗っては乾かし、研ぎ…と根気と忍耐を要する作業を繰り返し、  
それぞれ特色のある香川漆器ができあがります。

## もっと詳しく調べてみよう！



● 香川県漆器工業共同組合  
<https://www.kagawashikki.org/>



● 香川県漆芸研究所  
<https://www.pref.kagawa.lg.jp/sitsugei/>